

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公開番号】特開 2002-126404 (P2002-126404A)

【公開日】平成 14 年 5 月 8 日 (2002.5.8)

【出願番号】特願 2000-324771 (P2000-324771)

【国際特許分類】

**B 0 1 D 19/04 (2006.01)**

【F I】

B 0 1 D 19/04 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 22 日 (2006.2.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ショ糖と炭素数 3 ～ 4 のアルキレンオキシドとの化合物 [ A ] と、炭素数 9 ～ 15 の分岐型第一級モノアルコールと炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシドとの化合物および / または炭素数 9 ～ 15 の直鎖型第二級モノアルコールと炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシドとの化合物 [ B ] からなる カチオン電着塗料用消泡剤組成物。

【請求項 2】 ショ糖と炭素数 3 ～ 4 のアルキレンオキシドとの化合物 [ A ] と、炭素数 9 ～ 15 の分岐型第一級モノアルコールと炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシドとの化合物および / または炭素数 9 ～ 15 の直鎖型第二級モノアルコールと炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシドとの化合物 [ B ] および炭素数が 2 ～ 4 で 1 ～ 3 個の水酸基を持つアルコール類と炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシドとの化合物 [ C ] からなる カチオン電着塗料用消泡剤組成物。

【請求項 3】 [ A ] がショ糖に炭素数 3 ～ 4 のアルキレンオキシドを 30 ～ 45 モル重合し、ブチルジグリコール 25 質量 % 水溶液法での曇点が 40 ～ 55 である請求項 1 または 2 記載の消泡剤組成物。

【請求項 4】 [ B ] が炭素数 9 ～ 15 の分岐型第一級モノアルコールに炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシド 2 ～ 6 モルを重合させた化合物および / または炭素数 9 ～ 15 の直鎖型第二級モノアルコールに炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシド 2 ～ 6 モルを重合させた化合物で、0.1 % 水溶液、25 での表面張力が 40 mN / m 以下である請求項 1 ～ 3 のいずれか記載の消泡剤組成物。

【請求項 5】 [ C ] が炭素数 2 ～ 4 で 1 ～ 3 個の水酸基を持つアルコール類に炭素数 2 ～ 3 のアルキレンオキシドを 25 ～ 55 モル重合し、ブチルジグリコール 25 質量 % 水溶液法での曇点が 10 ～ 25 である請求項 2 ～ 4 のいずれか記載の消泡剤組成物。

【請求項 6】 [ A ] / [ B ] / [ C ] の質量に基づく配合比が 55 ～ 99.5 / 0.5 ～ 10 / 0 ～ 35 である請求項 1 ～ 5 のいずれか記載の消泡剤組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

本発明者は鋭意検討を重ねた結果、本発明に達した。すなわち、ショ糖と炭素数 3 ~ 4 のアルキレンオキシドとの化合物 [ A ] と、炭素数 9 ~ 15 の分岐型第一級モノアルコールと炭素数 2 ~ 3 のアルキレンオキシドとの化合物および / または炭素数 9 ~ 15 の直鎖型第二級モノアルコールと炭素数 2 ~ 3 のアルキレンオキシドとの化合物 [ B ] からなる カチオン電着塗料用消泡剤組成物 ならびに上記化合物 [ A ]、化合物 [ B ] および炭素数が 2 ~ 4 で 1 ~ 3 個の水酸基を持つアルコール類と炭素数 2 ~ 3 のアルキレンオキシドとの化合物 [ C ] からなる カチオン電着塗料用消泡剤組成物、である。